

あなべこうづせんかんれんいせき
おだわらしなんばー273いせき

穴部国府津線関連遺跡
(小田原市No.273遺跡)

(小田原市No.273遺跡)

調査期間 20080916～20090115

所在地 小田原市成田字上耕地
ほか

時代 古墳、奈良・平安



作成日:20090126

概要

本調査は、神奈川県県土整備部小田原土木事務所による都市計画道路穴部国府津線街路整備事業に伴う埋蔵文化財調査です。遺跡は、小田原市域の中央部を流れる酒匂川の左岸に広がった低地に立地します。

発掘調査では、古墳時代から奈良時代にかけての竪穴住居址や溝などが多数発見されました。住居址は調査区の東側にまとまって確認されていますが、この住居址群を区画するように南北に延びる幅 4.5m 以上の溝が検出されています。この溝からは古墳時代後期から奈良時代にかけての土器が多量に出土しているほか、水利に関係すると考えられる杭や農具などの木製品も多数出土しています。



▲45号溝 完掘状況